



「むごい教育」と「心の贅沢」^{ぜいたく} ～18日間の夏休みに向けて～

校長 藤田 賢一郎

「むごい教育」

今からおよそ450年前、戦国時代まっただ中、戦国大名である今川義元が、幼い徳川家康を人質にとっていたときのことです。

義元は、家来に「家康に『むごい教育』をせよ」と命じました。家来は、「粗末な家に住ませ、粗末な着物を着せ、粗末な食べ物を与えよう」と考えました。しかし、義元の考えは違っていました。義元は家来に「海の幸や山の幸、あふれる贅沢な食事を好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったら、いつでもいくらでも寝かせてやれ。寒いときは暖かく、暑いときは涼しくしてやれ。学問が嫌だと言うならやらせるな。本人が望むように、何事も好き勝手させよ」と言いました。そのような「むごい教育」をすれば、たいがいの子供はだめになると知っていたのです。

しかし、家康は、この義元の企みに屈することなく、自らを戒めて贅沢を避け、力を蓄えます。そして、天下統一を果たすのです。

底力と可能性を感じた一学期

残り数日で、68日間の一学期が終わります。通常ではない学校生活を、全校生徒は本当によくがんばりました。特に3年生は、挑戦や期待を胸に、楽しみにしていた大会や行事が中止になる中、今できる活動を最高の活動にしようと、下級生を頼もしくリードしました。改めて、板中生の底力と可能性を感じて、胸が熱くなりました。

保護者、地域の皆様のご理解とご支援のお陰をもちまして、大きな事故なく一学期を終了できまことに教職員一同、心から感謝申し上げます。

「心の贅沢」で力を蓄える夏休みに

今年度の夏休みは18日間。年度初の臨時休業や今後の新型コロナウイルス第二波なども鑑みて例年より短くなりますが、209名の板中生がそれ

ぞれの思いや願い、決意をもって夏休みを迎えます。ご家庭や地域で過ごす夏休みは、子供の成長にかけがえのない尊い時間です。冒頭の家康のように、自らを戒め、力を蓄える時間となることを願っていますが、現代社会はほしいものは何でも簡単に手に入る社会です。店やネットショップで気軽に物を買うことができ、暑い夏を涼しくする電化製品も豊富です。子供たちは、知らず知らずのうちに「むごい教育」を受けているのかもしれませんが。物品ではなく、「心の贅沢」によって子供が力を蓄えられるよう、大人の配慮と支援が必要です。

ご家庭や地域で、まずは、一学期の子供のがんばりを認め、褒めて褒めて褒めまくっていただきたいと思います。そして、「家や地域の手伝い」として仕事をさせるのではなく、子供を信頼して「中学生なのだから、一人前の仕事ができる。これは我が家、地域におけるあなたの仕事」と任せる。エアコンの効いた涼しい部屋でゲーム三昧させるのではなく、本物(自然や文化、芸術など)に触れる体験へと連れ出して一緒に活動し、大人に認められ、褒めてもらえるきっかけをつくる。さらには、本気で生きている大人の姿を見せ、子供がその姿に学び、あこがれを抱いて自分の成長を願うように仕組む。このような、子供をたっぷりと愛しむ時間と心を豊かにする支援こそ、子供たちにとっての本当の贅沢、本物の教育です。「心の贅沢」を楽しむ18日間へのご支援を、お願いいたします。

大人も一緒に「心の贅沢」

同時に、新しい日常生活の中でウィルス感染防止に努めながら、大人も一緒に贅沢な夏休みを堪能しようではありませんか。

私たち教職員も、二学期始業式で保護者、地域の皆様のご支援で一回り大きく成長した209名の笑顔に再会できることを、夏休みに蓄えた力が二学期の輝きにつながることを楽しみに、二学期に向けた力の蓄えに努めます。

◇運動部「3年生締めくり交流会」はじまる 7月19日(日)～

7月19日(日)に柿崎ドームで、バレーボール部の3年生締めくり大会が行われました。

今年度は、ご存じのとおりコロナウイルス感染症対策のため、地区大会等の中体連主催の大会が中止となりました。そこで、3年生のこれまでの取組をできるだけ良い形で締めくくれるようにと、締めくり大会が多くの競技で企画されました。23日(祝)には、卓球部がはねうまアリーナで、野球部がくびき球場で、26日(日)には陸上競技部が高田公園陸上競技場で大会を実施します。



◇ いざ、体育祭!! 軍色、チーム 決まりました。

体育祭実行委員主催 7月16日(木)

7月16日に、各学年ごとに編制された2チームを、生徒会主催のゲームを通して紅軍、青軍に分ける「軍色決め」が行われました。どの学年のゲームも、短時間で出来るように工夫が凝らされていて、集まった全校生徒の笑顔と拍手があふれる楽しい時間になりました。



1年生「バレーボールリフティング」で軍色決め



2年生「紙飛行機とばし」で軍色決め



3年生「かくれんぼ-古川さんを探そう」で軍色決め



結果は…。みんな気合が入りました。

◇3年生高校説明会 7月3日(金) —PTA3学年部共催—

7月3日の5限、6限と放課後の時間帯に、中学校の体育館、食堂を会場にして、高校説明会を開催いたしました。全部で10校の高等学校の先生方からお越しいただき、各学校の様子や先輩方の高校卒業後の進路、そして、どのような生徒の入学を高校では期待しているかなどをお話いただきました。3年生からは、高校全体の雰囲気についてや、授業についていけなくなる人はどれくらいいるのかなどの質問がありました。

これからは各高校で体験入学も実施されます。様々な進路を研究し、自分の将来の目標に合った進路を選んでほしいと願っています。



【ALT ブリタニー先生退任のお知らせ】

1年間 ALT としてお勤めいただいたブリタニー先生が、この度 ALT としての契約を満了され、母国に戻ることとなりました。コロナ禍による激動の中、板倉中学校はもちろん、板倉区内の小学校でも指導にあたられ、子どもたちと関わってこられました。ブリタニー先生のおかげで、英語を学ぶことの楽しさを感じた生徒も多かったと思います。ブリタニー先生、ありがとうございました。

さようなら！（ごあいさつ）

バーンズ ブリタニー



— The goal is not perfection but communication —

7月27日が、私の板倉中学校への最後の訪問になります。私は8月にカナダに帰ります。みなさんが英語を練習するのをお手伝いすることができて、私はとても喜んでます。そして、みなさん一人一人に会うことができる機会を私に与えてくれてありがとうございました。

学校の外で、第二言語を使う時（つまり、英語を使う時）は、常に次のことを覚えておいてください。言語を使う目的は、「完璧さ」ではなく「意思を伝え合うこと」なのです。英語のテストで高得点をとれなかったとしても、それは「英語を話す人とコミュニケーションがとれない」ということではないのです。常に挑戦してください！ そうすれば、あなたが思っている以上に成功をおさめるでしょう。

私の日本で過ごした時間を、思い出深いものにしてくれてありがとうございました。

Good luck and never give up! 幸運を祈ります。そして、絶対にあきらめないで！

生徒たちは、1人1人のメッセージを貼ったカードをブリタニー先生に贈り、感謝の思いを伝えました。

令和2年度 板倉中学校後援会役員 敬称略

会 長	宮澤 良夫(吉増)	
副会長	山部 丸山富一郎(山 越)	寺野 石田 貞夫(猿供養寺)
	宮島 藤巻 浩 (上沢田)	筒方 相葉 雅彦(上関田)
	豊原 中村 信一(稲 増)	
	PTA 一條 知美(会 長)	
監 事	豊原 田辺 宏 (上長嶺)	筒方 安原 一郎(栗 原)
幹 事	学校 黒田 匠 (教 頭)	学校 小出 綾 (主 事)

今年度の後援会代議員会は、書面による議決で行いました。関係の皆様方のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。例年の申し合わせ事項に基づき、会長は、針地区から選出の宮澤 良夫様、副会長は、他の5地区の連絡協議会長様とPTA会長一條知美様にお引き受けいただきました。監事は、今年度担当地区から選出いただきました。物心両面で地域の皆様にはお世話になります。よろしく願いいたします。

今年度は、地域の皆様からのご浄財である後援会費から、印刷のためのインク、トナー代金を拠出させていただきます、学校だよりをカラー印刷でお届けできるようにいたしております。

8月の予定

- 3日(月)廊下・階段ワックスがけ
- 4日(火)、5日(水)、13日(木)
トイレ工事に伴う断水
- 8日(土)～16日(日) 学校の無人化
- 17日(月)職員研修日
- 18日(火)2学期始業式 部活動なし、
1学期通知表配付
- 19日(水)上進連テスト①
- 21日(金)2年生「人生の先輩に学ぶ講演会」
- 25日(火)学級優先日 2学年PTA
- 28日(金)3学年保護者会 PTA生活活動委員会
- 31日(月)体育祭練習① 教育実習(～9月18日)



新型コロナウイルスに負けないよう生徒・職員が描いた妖怪アマビエ

お知らせ

夏休み事務連絡

- ・JR(新幹線を含む)100km以上を利用する場合、学割利用で運賃が3割引になります。必要な方は事務室にお申し出ください。(手続きに必要な書類をお渡しします。)
- ・8月8日(土)～16日(日)は、上越市の方針で日直の職員は置きません。緊急の連絡は、学級担任へご連絡ください。
- ・万が一、生徒が事件・事故に遭遇した場合は、関係機関(警察・消防等)への連絡と併せて、学級担任にもお知らせください。

充実した夏休みを過ごし、2学期の始業式には、元気一杯の生徒が登校してくることを願っています。